



令和6年度 第2号



情報交換・連携強化

小金井警察署長 品田 一彦

小金井警察署長の品田と申します。

北多摩東地区保護司の皆様には、平素から警察署の業務運営に多大なるご支援ご指導を頂いており、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

保護司の皆様はボランティアという立場において、犯罪や非行をした人々に対し、地域の中で適切な処遇を図ることで立ち直り支援をされております。これをもって地域の犯罪非行の予防が図られており、治安責任を担う警察署長として唯々頭が下がる思いです。

現在の犯罪情勢を見ますと、匿名・流動型犯罪グループの躍や犯罪手段のサイバー空間への広がりなどから、都民国民の不安感は一層膨らみつつあると考えます。こうした中においても警察内部では、少子高齢化の影響で警察職員の採用情勢が悪化するなどにより職員の供給構

造に大きな影響を及ぼすことが懸念されております。

我々警察署といたしましては、犯罪非行の予防のため、保護司の皆様をはじめ、関係機関の皆様との連携強化が必須であります。今後のさらなる交流をお願いいたします。

誠に残念なことではございますが、令和6年5月に滋賀県大津市で大変痛ましい事件が発生しました。亡くなられた保護司の方に衷心より哀悼の意を表します。

この件の報道に触れた際、保護司の皆様は平素から細心の気配りと多大なる誠意をもって活動となされているのだと改めて認識させられました。今後も相互の情報交換により効果的に活動できればと考えております。

結びに北多摩東地区保護司会のみならず、ご隆盛を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

北多摩東地区保護司会 「新春のつどい」

令和7年1月24日(金) 11時30分から15時まで吉祥寺東急REIホテル3階「むさしの」にて新春のつどいが開催されました。



望月加奈子会長、市川豊立川支部統括保護観察官、各市市長からメッセージ披露、各市市議会を代表し田中

政義国分寺市議会議長の挨拶があり、ご来賓の皆様方の紹介(主任官・桐友会・各市事務局)、祝電披露がありました。

その後は今年度に表彰を受けられた受賞者に記念品を一人ごとに贈呈されました。受賞者を代表し山崎祐子様より挨拶をいただきました。講演では市川統括保護観察官を講師に「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会の結果報告について」をテーマにお話があり、出席者全員で拝聴し、これからの保護司制度の動向を学ぶことができました。

休憩をはさみ懇親会が開催され

ました。初めに前田善一郎多摩地区保護司会連絡協議会会長の乾杯のご発声でスタートしました。乾杯後は、美味しい食事をしみつつ、出席者の方々が各テーブルを回り久しぶりにお会いした方との会話を楽しんでおられました。今年中止していた抽選会も再開し、きれいな花の鉢植えなどの景品を目指し、抽選会に一喜一憂して楽しい時間を過ごしました。

須藤正敏副会長の閉会の言葉で会はお開きになり、最後に受賞者の方々、各分区が会の記念に写真撮影しました。

(総務部会 中村 隆生)



令和6年度 第7ブロック保護司組織運営連絡協議会開催について



令和6年10月22日(火)、残暑が続く日々の中、法務省矯正研究所内国際法務総合センターを会場にして

当番地区の北多摩北地区の方々の準備のもと、13時より令和6年度第7ブロック保護司組織運営協議会が開催されました。

東京都保護司会連合会会長、立川支部長他ご来賓の挨拶、紹介の後、「社会を明るくする運動」について考える」を協議題として、4つの項目に分けて発表がありました。

府中地区、調布・狛江地区、北多摩北地区、北多摩東地区、北多摩西地区の5地区の発表担当者より、各地域の杜明の意義・必要性・現状・課題・問題点などの発表が行われ、その後質疑応答が行われました。

新しい試みとして杜明をAIに解析させてグラフ化した解説及び

説明の発表もあり、協議会からは作成に關しての質問が多くありました。また、各地域とも最近の氣候の変化から杜明の活動期間、活動に際しては異常氣象を配慮し、健康に留意して開催時期をずらして対応する様子もみられました。

第7ブロックの中でも杜明の経費活動、内容も様々でまた行政の関わり方も様々なものがありました。北多摩東地区では代表して武蔵野分区渡邊芳弘氏が発表しました。

協議会終了後には参加者全員での打ち解けた懇親会が開催されました。

(研修部長 林 博行)



春の褒章受章者

藍綬褒章

武蔵野分区 山崎 祐子氏



令和6年春の褒章において、山崎祐子氏（武蔵野分区）が藍綬褒章を受章されました。

山崎氏は、平成16年5月保護司を拝命、令和4年法務大臣表彰を受章、多くのケースを担当する傍ら、当保護司会の広報部長、また武蔵野分区の副分区長として活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

令和6年度
東京更生保護事業関係者顕彰

令和6年度東京更生保護事業関係者顕彰式典では、北多摩東地区保護司会関係者37名がその功績を顕彰されました。

藍綬褒章（春）

山崎 祐子（武蔵野）

法務大臣表彰

五十嵐 京子（小金井）
小山 茂（小金井）

全国保護司連盟理事長表彰

小美濃 安弘（武蔵野）
立川 八重子（武蔵野）
渡邊 卓利（小金井）

日本更生保護女性連盟理事長表彰

片野 理代（三鷹）

関東地方更生保護委員会委員長表彰

青山 真市郎（武蔵野）
小山 直子（小金井）
中川 知子（武蔵野）
渡邊 芳弘（武蔵野）関東地方更生保護委員会
委員長感謝状

大久保 良子（武蔵野）

関東地方保護司連盟会長表彰

大久保 忍（三鷹）

大羽 千世（三鷹）

鎌田 広美（三鷹）

霜鳥 文美恵（小金井）

須藤 倫子（三鷹）

仲摩 恵子（武蔵野）

山崎 豊（三鷹）

宮崎 邦子（国分寺）

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

岩井 昭治（武蔵野）

金子 千佳（国分寺）

河野 律子（小金井）

高麗 静男（三鷹）

興水 香（国分寺）

田中 勉（小金井）

中村 隆生（国分寺）

山本 雄一（小金井）

東京保護観察所長感謝状
（更生保護女性会員）

遠藤 百合子（小金井）

高麗 美智子（三鷹）

小山 直子（小金井）

東京都保護司連合会会長表彰

磯野 茂（小金井）

今田 三津子（国分寺）

宅島 孝喜（小金井）

星野 智樹（小金井）

東京更生保護女性連盟会長表彰

岩澤 美代子（国分寺）

戸倉 央江（国分寺）

多摩連情報

*第2回多摩連常任理事会

令和6年9月6日 15時半

東京保護観察所立川支部

各部会報告等

総務部会

第2回 令和6年11月19日 13時半

第3回 令和7年3月24日 15時半

研修部会

第2回 令和6年11月14日 13時半

第3回 令和7年3月18日 15時半

地活部会

第2回 令和7年3月5日 15時半

広報部会

第2回 令和7年3月13日 15時半

*令和6年度多摩連受彰祝賀会

令和6年12月13日 12時

ホテルエミシア東京立川

*第3回多摩連常任理事会

令和6年12月23日 16時

東京保護観察所立川支部

*令和6年度多摩地区保護司
全体研修会

令和7年2月3日 14時～15時45分

パルテノン多摩大ホール

講師 幸島聡氏

*第4回多摩連常任理事会

令和7年3月27日 15時半

日本更生保護協会常務理事

第74回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区

【境南盆踊り】

令和6年8月3日(土)境南ふれあい広場公園で行われた「境南盆踊り」に参加し、猛暑の中、大勢の参加者に啓発品を配布しました。

啓発品の団扇を手にした方の中には、その団扇を浴衣の帯に挟んで、踊る方もいらつしやいました。

小さいお子さんにはシールや塗り絵も人気で、「ありがとう」とかわいい声で言われると、こちらも笑顔になりました。

社会を明るくする運動は、こうして地域と繋がるのが大切だと思います。

(木川 憲子)



三鷹分区

【三鷹商工まつり】



令和6年12月7日(土)、8日(日)、澄み渡る晴天の中、三鷹商工まつりは実施され「社会を明るくする運動」も三鷹市推進委員会にて、

凛とした空気の中はじまりました。

刑務作業品の販売では、人気のブルースティックをはじめ、大学ノート、便箋、封筒等を販売しました。

一部ノート等は売れ残りしましたが、まな板、ミニすのこ、ブルースティックは完売しました。

会場においでの方の市民の皆様には絆創膏、ボールペン、お子さんにはぬり絵を配布。一緒に「社会を明るくする運動」のチラシをお配りし、啓発活動を二日間にわたり行い、充実した商工まつりへの参加となりました。また来年も参加し、啓発活動を継続していきたいと思っています。

(小野 純一)

小金井分区

【子ども映画会・パネル展示】



令和6年8月28日(水)、小金井市宮地楽器ホール大ホールにて「子ども映画会」が開催されました。映画会の冒頭では、「社会を明るくする運動」の標語入選作品の発表、お笑いタレント鉄拳さんのパラ動画の上映が行われ、『ミニオンズ・フィーバー』の鑑賞と合わせ、参加者は楽しく学ぶことができました。

また、8月27日(火)と28日(水)には、同施設のマルチパーパススペースにて関連パネル展示も実施し、小金井分区保護司が企画・準備を行いました。映画会には380名、パネル展示には80名が訪れ、多くの市民が「社会を明るくする運動」の意義を再認識する機会となり、2日間を通じて、地域での関心が高まり、参加者に楽しみと学びを提供する事業となりました。



国分寺分区

【国分寺まつり】



令和6年11月3日(日)、4日(月)の2日間、都立武蔵国分寺公園で「第41回国分寺まつり」が開催されました。両日とも晴天に恵まれ、会場は

多くの来場者で溢れていました。

社明のブースではPR活動として「刑務作業品の販売」、ホゴちゃんとサラちゃんのぬり絵のワークショップを行いました。親子連れの方も多く、お子さまのぬり絵をしている姿は微笑ましく、ブース内は始終にぎやかな声にあふれていました。ぬり絵をした子どもたちには「ガチャガチャ」で社明の景品をお渡ししたことにより集客効果があり、ブース内に入らずに順番待ちをする姿も見受けられました。

また、ブース前ではリーフレットやポケットティッシュ等を配布したことで社明の効果的な広報活動ができました。

(興水 香)

令和6年度

北多摩東地区保護司会
管外研修

令和6年11月21日(木)より1泊2日の旅程で、地区としては5年ぶりとなる管外研修が行われました。

研修先は初日が浜松の金原明善記念館、本田宗一郎ものづくり伝承館、二日目は望月加奈子地区会長のご親戚のご縁で静岡県静岡市清水福祉会館『はーとびあ清水』内にある『サポートセンター清水』に於いて清水区保護司会との交流会を行いました。

参加者は保護司が24名(武蔵野分区6名、三鷹分区3名、小金井分区9名、国分寺分区6名)、事務局から3名を加え全27名。初日は朝7時30分に三鷹駅北口から出発。順調に昼食会場に着き、かつて地区で役員をされ浜松に転出された元国分寺分区の田中久美子氏が昼食から自家用車で合流してください、金原明善記念館を一緒に見学する機会に恵まれ、旧交を温める和やかなシーンもありました。

保護司の間では金原明善翁は「更生保護の開祖」という認識でしたが、地元静岡ではかの渋沢栄一翁と師を

同じくし天竜川の治水事業での功績が一般的な認識であったことが意外な事実でした。記念館では玄孫の館長からご説明を頂き、治水とその人となりについてVTR含め約40分のお話を伺いました。

二日目は清水市の宿を朝9時に出て、市内のサポートセンター清水で10時前から交流会を開催しました。清水地区からは5名の役員と2名の事務局の方々が出席してください、両地区会長挨拶後に全員の自己紹介を終え、パワーポイントを用いたサポートセンターの運営についてお話をおよそ1時間頂きました。

①中学校との関わりについてどのような教育に拡げていったのか、②新任保護司のか、③相談窓口にはどのような相談が来るのか、④会員との通信手段にしているBAND通信は全員に浸透しているのか、⑤自薦保護司はどのような



研修の様子(サポートセンター清水にて)

に対応しているのか、⑥事務局と市役所はどのような関わり方か、⑦杜明運動中の学生の反応はどのようなものか、そしてどのような行っている

か等々、終了予定時間を過ぎててもなお終わる様子がないほどで、次のスケジュールの都合上やむなく打ち切りとなり『追加の質問などは会長を通していつでもどうぞ』との清水地区からのお申し出を受け会場を後にしました。

5年ぶりの開催ということから、懇親会は予想以上に盛り上がり、久しぶりに晩秋の分区分を越えた意見交換を楽しみました。

サポートセンターの運用については参考になることも多く拝聴でき、IOTを気軽に使いながら中身の濃い情報伝達を目指し、実用性の高いセンター作りができれば研修の甲斐があったと後の地区会で思えるのではないのでしょうか。

更生保護女性会
活動報告

清水 智恵子

令和6年10月15日(火)国分寺市いずみホールに於いて、東京更生保護女性会第7ブロックの研修会を開催しました。講演会に先立ちフルートとピアノのデュオの演奏で皆様もうっとり、とても素敵な演奏でした。講演会は、久持修氏(公認心理師・臨床心理士)をお招きし、「発達障がい者への関わり」についてお話をいただきました。時間がかかっても一つずつ順番にやっていく等、例を挙げてお話してくださいました。

次の活動は、11月25日(月)管外施設視察研修で「八街少年院」を訪問しました。職員の方のお話で印象に残ったのが、処遇の特色に勤労意欲を高め堅実に生活する習慣を身に付け、実習を通じて働く意欲を高めさせるということでした。実際に少年院で塗装の仕事



を身に付け、会社を起こして仲間の方々と一緒にこの施設の入所者の部屋のドアの塗り替えに来てくれているとお聞きし、胸が熱くなりました。

地域別定例研修

令和6年度 第Ⅱ期地域別定例研修

研修テーマ

「個人情報保護・

情報セキュリティ」



令和6年度第Ⅱ期地域別定例研修の1回目を木村主任官が10月29日(火)18時30分から武蔵野プレイスにて、2回目を井澤主任官が11月15日(金)14時から国分寺市本町・南町地域センターにて開催しました。テーマは『個人情報保護・情報セキュリティ』について。

研修は資料を基に説明後グループ討議とその発表が行われ、来春から報告はH@ (はあと)を中心に行うこととなるため、H@の利用説明となりました。出席率は全体で50・53%という低い数字となりました。

第Ⅲ期の研修テーマは『被害者等の想いに応える保護観察』についてです。(研修部長 林 博行)

桐友会だより

会長

本木 治子



*東京桐友会

コロナ禍で何年か中止されていましたが令和6年度東京桐友会総会・第39回東京桐友会会員の集いが左記のように開催。

日時 令和7年2月20日(木)

午後1時30分～3時30分

会場 スクワール麹町

3階「錦華の間」

*北多摩東桐友会

更生保護関係機関との連絡協議会での講演会「社会から排除されながら生きる元やくざ弁護士が感じる更生のハードル」(講師 弁護士・諸橋仁智氏)の講演に7名出席。

過去に更生保護に関係した保護司にはとても理解しやすい講演でした。分区の活動では三鷹分区が令和6年12月・みたか商工まつり・三鷹分区懇親会・令和7年1月保護司会との新年会等。

小金井分区は7月、10月に懇親会を開催。

これからも会員の増員を図り諸行事に参加し更なる発展を望みます。

BBS会

北多摩東BBS会

会長 熱海 和奏



令和6年10月に引き続きを行い、北多摩東BBS会は新体制となりました。12月には紫翠苑でクリス

マス会を行い、苑生の方々とレクリエーションなどを楽しみました。

また、昨年から継続的に行われている活動に加え、新たな活動も行ってきたと考えております。定例会の中では会員から新たな活動の提案等もあり、試行錯誤をしながら積極的に活動をしていきたいと考えております。

これからも北多摩東BBS会をよろしく願いいたします。

コラム「窓」 北多摩東分区 山本年哉

少年時代から自転車が好きでした。高校生の時に初めてバイクに触れた当時は1970年代で、暴走族が横行している時代でした。単純にバイク好きだったので、暴走族に入っている友人から誘われましたが、参加しませんでした。その後、いろんなバイクを乗り継ぎました。

2年前、三鷹市に引っ越して来た当時乗っていたのは、ヤマハボルト950ccという国産のアメリカンタイプです。今は、ハーレーダビッドソンのビンテージに乗っています。何も余計なものはないシンブルなバイクです。以前に三鷹ハーレー正規ディーラーから、新車のレンタルをし、ツーリング終了際にオイル漏れが発生して、ギリギリなんとか茨城方面から三鷹まで帰ってきました。ただでさえ、故障が多いといわれるハーレーダビッドソン、1997年製なので、故障は覚悟で購入しました。今回、ハーレーを購入したのは、東八道路と新川天神通り交差点近くにあるハーレー専門修理工場を見つけて、そのオーナーからの紹介で、個人間で譲ってもらいました。オーナーさんはハーレー専門のショップを長くやっているとのこと、それなら何かあったらすぐに対応してもらえるとということで購入をしました。そして、買ってから毎週のように不具合がありました(笑)。でも、この面倒くささも、このビンテージに乗る楽しみの一部となっています。



武蔵野分区



令和6年11月8日(金)に武蔵野分区日帰り研修で、東京拘置所の見学に参加しました。リノベーションされた旧庁舎は重要文化財に指定されたとのこと。現施設も独特なデザイン、建物ですが、収容者の尊厳が守られ、職員の業務が円滑に進められるように、目的、機能的に設計されていることに納得しました。

印象に残ったのは、近隣に刑事施設があるということについて、周辺住民への配慮と協力に前向きであることです。職員による施設外安全パトロール、地域行事の運営参加(夏祭り会場

の受付手伝い)、災害時の一時避難所開放(令和元年台風19号)、職員及び公務員官舎の隣地設置、「矯正展」開催など、地域に根ざした運営と啓発活動がなされているのには感心しました。

当北多摩東地区サポートセンターにとっても、同様の課題があるかもしれませ

ん。私たちに関わる更生保護活動は、杜明運動のように外部への周知・啓発も重要だと再認識した研修でした。

(松尾 竜哉)



三鷹分区



三鷹分区は、保護司27人体制で令和7年、環境調整、保護観察事件(両方で約30件)を担当して行きます。薬物依存症、性犯罪、青少年の暴力事件、詐欺、窃盗など、再発防止の観点から心を込めて対象者に寄り添い立ち直りに尽力してまいりたいと考えています。しかしながら面接予定日に来訪しなかったり、時間にルーズな対象者など悩みは尽きません、心を広く持つて対処していきたいと思っています。

さて私ごとになりますが、当職は平成5年5月に委嘱され令和7年5月に定年を迎えます。この間大過なくこれらのも観察所の歴代主任官や仲間の保護司の皆様のご指導のおかげと感謝しています。最後に32年間の保護司活動で心に残った言葉は『親の

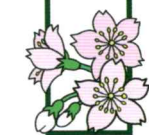
因果が子に報いる!』です。心しくなくてはいけないことわざです。

(須藤 正敏)



ぶ ん く ト ピ ッ ク ス

小金井分区



新年を迎えあちこちで新年会が開催をされて、昨年よりまた一步脱コロナが進んでいるように思います。

さて、昨年からの小金井分区の課題は、毎年秋に実施していた小金井市民まつりが中止になり、テントを借りて刑務所矯正施設作業製品の販売を行っていた事業ができなくなつて、代わる事業をどうするか、ということ。更に昨年の第7ブロック協議会の課題が「社会を明るくする運動」だったことも刺激となり、コロナ禍で参加者を限定していた運動を完全に元に戻しつつ、より効果的な内容にしていこうという方向で話し合いを始めています。巳年の今年、会としても脱皮をしながら成長を、と思っています。(宅島 孝喜)



国分寺分区



昨年11月に参加した当地区保護司会の宿泊研修で交流した静岡県清水区保護司会では、社会を明るくする運動を出前講座として中学校で行っていることの紹介があり大変刺激を受けました。

国分寺分区でも安心安全な地域づくりの一つとして中学校との連携を各団体と協議連携しながら、少しでも進めていけたらと考えています。

分区では令和6年度最後の事業として、令和7年2月20日(木)、日帰り研修で横須賀刑務支所を視察しました。この施設は初犯者及び外国人を収容する男子刑務所で、刑務作業は人気のブルースティック石鹸製造です。親睦も深まり有意義な研修でした。(和地 誠一)



年二回発行
昭和四十八年十月一日創刊

令和七年三月一日発行

三鷹市（三鷹中央防災公園・元気創造プラザ）

三鷹中央防災公園・元気創造プラザは、災害に強いまちづくりと多様な機能が融合した元気創造拠点です。

災害時に、元気創造プラザは機能転換し、災害対策本部の設置など、施設全体が災害対策活動の拠点となります。

三鷹中央防災公園には災害用仮設トイレや防災パーゴラなどを設置し、被災された方の支援に活用します。



武蔵野市（防災広場）

武蔵野市内には5つの防災広場があります。

小さな公園の地下には飲料水を貯めた水槽があり、ベンチはトイレや火をおこすことができるかまどにもなります。

ソーラー灯や防災倉庫もある公園なので、いざという時のために覚えておきたい場所です。



防災

国分寺市（市庁舎）



令和7年1月1日より庁舎を移転し供用を開始しました。新庁舎は免震構造や自家発電設備を備えるなど、大規模災害発生時の災害対策

本部としても万全な性能と機能を確保しています。また国分寺消防署と災害医療の拠点となる市立いずみプラザ、さらに都立武蔵国分寺公園や都立多摩図書館等とも隣接しており、新庁舎を中心として災害対応を効果的に実施する体制が強化されました。

小金井市（梶野公園）



東小金井駅北口からすぐの場所にある自然豊かな公園。遊具はありませんが、広々とした芝生が広がり、自由に好きな時間が過ごせる市民の憩いの場所です。普段は穏やかでありながらも、市の防災公園で一時避難場所に指定されて、マンホールトイレや井戸、かまどになるベンチがあり、防災機能を有し市民にとって心強い味方となっています。



退任保護司

長い間お疲れさまでした。

首藤 毅彦氏（国分寺分区）

令和6年7月31日

（在職5年2か月）

池谷 敏子氏（国分寺分区）

令和6年12月21日

（在職14年）

新任保護司

左記の方が委嘱されました。
今後のご活躍を期待しております。

（国分寺分区）

山口 康弘氏

令和6年9月1日

発令

（三鷹分区）

青木 真紀子氏

令和6年12月22日

発令

編集後記

現在の広報部員での活動は3月末日をもちまして任期満了となります。

広報部では『温故知新』を指針に、会報「北多摩東」創刊号（昭和48年10月1日）から、諸先輩方の培ってきた活動や保護司会として大切にしているものを守りつつ、時代に寄り添った新しき工夫での編集を行ってまいりました。

いかに読みやすく、伝わりやすくなるかを考え、一例ですとデジタル化が進む現代であるのでQRコードから動画に移行する仕組みにチャレンジするなどを実行いたしました。

また広報部会では、編集の議題も学びになり、同時に保護司としての情報交換や各々の担いに対する考え方などを知ることのできる機会は貴重であり、楽しく活動できたと思うばかりです。

最後に発刊に際し、多くの皆様のご協力とご支援を賜りご多用の中、ご寄稿くださいましたすべての皆様に感謝申し上げますとともに今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（広報部一同）

発行者
編集人

北多摩東地区保護司会
山本 雄一 電話〇九〇（二六〇七）〇二七一